

奥畠螢の里公園

奥畠川は平成元年 4 月に環境省から「ふるさといきものの里」の認定を受け、奥畠地区全世帯による「ホタルの里おくはた」を結成して、地域の子供たちとともにカワニナの放流やホタルの観察・ホタル祭りなど、ホタルの保護と奥畠川の保全に努め、毎年多くの人々が奥畠川のホタルを鑑賞していました。だが平成 11 年 6 月 29 日の水害で奥畠川は壊滅的な被害を受けてしまい、その後水路は整備されましたが、カワニナの餌となる藻類の復元には至らず、いまゲンジボタルが飛ぶのは「ホタル公園」とその周辺のみになりました。

「奥畠散策マップ」より引用



草刈りをして綺麗に整備されています



6月12日の螢 (2018年)

写真では螢が少ししか映っていませんが、目視では30匹ぐらいが飛んでいました。

